

## 尾瀬学校及び芳ヶ平湿地群環境学習の推進 (尾瀬学校等補助金事業)

### 活動を行う団体

群馬県

<https://www.pref.gunma.jp/01/e2310229.html>

[https://www.pref.gunma.jp/04/e23g\\_00027.html](https://www.pref.gunma.jp/04/e23g_00027.html)

### 活動の概要

尾瀬は、美しい景観と貴重な生態系を持ち、「自然の宝庫」と呼ばれている。また、芳ヶ平湿地群は、火山活動の影響を受けてできた特殊な湿地群である。ともに、ラムサール条約湿地に登録され、国際的に重要な湿地として注目されている。

群馬県では、県内の子どもたちが一度は尾瀬等を訪れ、自然体験を通じて、身近な自然を守る大切さ、ひいては地球環境を守る大切さを学んでもらいたいとの思いから、「尾瀬学校」を平成20年度から、そして、芳ヶ平湿地群環境学習を平成30年度から実施している。県では、これらの環境学習に対し、「尾瀬学校等補助金」事業を実施し、経費の一部（ガイド料金やバス代）を補助している。

現地での実施日以前に、ガイドが学校に出向いて事前学習を行うこととしており、導入学習や動機付けを行い、学習効果を高めている。また、現地では少人数の班に分かれ、各班に現地の自然、歴史、保護の取組等に詳しいガイドが同行し、きめ細やかで質の高い自然体験を提供している。

本事業を通じて、令和元年度には、小学校70校、中学校51校が参加した。

写真上は、尾瀬ヶ原で池塘(ちとう)をのぞき、生き物を観察する参加者  
写真下は、芳ヶ平湿地群における環境学習の様子



### 優良事例のポイント

県内でも有数の自然度を誇り、日本の自然保護運動の原点とも言われる尾瀬等での自然体験により、子供たちの郷土を誇る心を育むとともに、尾瀬の自然を守る取組など、人と自然との関わりを学ぶことができる場にもなっている。

ガイドによる事前学習及び現地でのガイドを伴った少数班での自然体験は参加者に新たな発見や感動を与え、自然保護や環境問題への関心を高めることにつながっている。